

令和元年度第1回富山市交通空白輸送地域公共交通会議 議事録

1. 日時 令和元年8月27日（火）10:00～11:00

2. 場所 富山市役所 東館3階 自治振興会室

3. 出席状況

【出席者】

団体名等	職名	氏名	備考
金沢大学理工研究域地球社会基盤学系	教授	中山 晶一朗	
富山地方鉄道株式会社自動車部運行管理課	課長	林 裕一	
富山県タクシー協会	専務理事	清澤 新一	
全国自動車交通労働組合富山地方連合会	執行委員長	石橋 剛	
国土交通省北陸信越運輸局富山運輸支局	首席運輸企画専門官	開田 慎	
富山県警察本部交通部交通規制課	課長	古川 秀治	代理出席
富山県観光・交通振興局総合交通政策室	次長	清水 圭	代理出席
富山県富山土木センター	次長	西井 慎一	
富山市活力都市創造部	部長	前田 一士	

【説明者】

・NPO 法人水橋ふれあいコミュニティバス 理事長 岩田 昌夫、理事 濱田 康治

【事務局】

・富山市活力都市創造部交通政策課 課長 村井 真哉、課長代理 片山 尚之、
技師 相澤 眞子

4. 議事

・議決事項

議案第1号 「水橋ふれあいコミュニティバス」の停留所新設・位置変更等について

議案第2号 市営「大山コミュニティバス 大庄循環線」の路線・停留所位置変更等について

報告第3号 市営「八尾コミュニティバス」の路線・停留所位置変更等について

5. 資料

・会議次第 ・委員名簿 ・配席表 ・会議資料

・富山市交通空白輸送地域公共交通会議設置要綱

議案第1号「水橋ふれあいコミュニティバス」の停留所新設・位置変更等について

【資料説明】 NPO 法人水橋ふれあいコミュニティバス

【意見・質問要旨】

(前田委員)

新保新町周辺の児童がモーニング便を利用しているとのことだが、児童の通学距離はどの程度か。また、夏季休暇期間ではない通常時の児童の利用はどの程度か。

(NPO 法人水橋ふれあいコミュニティバス)

通学距離は約1.5kmである。また、夏季休暇期間以外の通常時では、児童の利用は1便あたり約4～5人である。

(前田委員)

モーニング便の児童の利用は、新保新町に住んでいる児童がほとんどを占めているのか。

(NPO 法人水橋ふれあいコミュニティバス)

水橋駅前((旧) JR 水橋駅前)で降車する通勤利用が少しあるが、利用者のほとんどが、新保新町か新保から乗車し、西部小学校前で降車している。

(中山会長)

夏季休暇期間にモーニング便を運休するとあるが、春休みや冬休み期間は運休としないのか。

(NPO 法人水橋ふれあいコミュニティバス)

冬休みや春休み期間は少数ではあるが通勤での利用があり、また、児童の休暇期間が2週間程度と短期間のため、現行のままの運行を考えている。

(前田委員)

夏季休暇期間のモーニング便は通勤での利用はないのか。

(NPO 法人水橋ふれあいコミュニティバス)

乗降調査によると、夏季休暇期間は水橋駅前((旧) JR 水橋駅前)で降車する通勤利用者はおらず、夏季休暇期間のモーニング便の運休による支障はないと考えている。

【議決】 原案のとおり承認

議案第2号 市営「大山コミュニティバス 大庄循環線」の路線・停留所位置変更等について

【資料説明】 富山市

【意見・質問要旨】

(中山会長)

廃止停留所周辺には集落があるが、地元の方々からの了解は得ているのか。

(富山市)

自治振興会との協議では、利用が極端に少なく、該当の停留所の廃止はやむを得ないと了承を得ている。

(西井委員)

廃止する停留所もあり、一周の運行時間が約15分～20分程度短くなるが、新たに停留所の設置を求める要望はなかったのか。

(富山市)

富山市が新しい路線の原案を作成し、自治振興会の方々と話し合いをした上での路線案となっており、地元の要望は反映させていただいていると考えている。

(中山会長)

大庄循環線の運行時間以外は別の路線でバスが走っているのか。

(富山市)

その通りである。当初より他路線の運行時間以外の空いている時間を利用して大庄循環線を運行しており、今回も他路線の間の時間を利用し運行することを考えている。

(中山会長)

買い物利用客の利用実態を踏まえ、開発駅では35分程度で次のバスを利用可能としているが、想定している買い物時間は短くないのか。

(富山市)

スーパーの社長と協議させていただいた中では、利用客の平均滞在時間が15分程度で、長くても25分程度と伺っている。他路線との兼ね合いを考慮しながら、35分程度で次のバスが来るように、利便性を向上させたダイヤを編成した。

(前田委員)

大山地域にはスーパーがなく、一番近いスーパーが開発駅付近のスーパーとなっている。いち住民の実感としては、高齢者の方々は荷物が多いと移動が大変であるため、沢山の商品を購入されることは少なく、滞在時間が15分～20分なのではないかと考えられる。スーパーの中にイトインのスペースがあれば、バスの待ち時間に他の住民と話ことができ、引きこもり防止になるのではないかという考えもあった。しかし、スペースの問題があり、新たな路線案で待ち時間の短縮を検討した次第である。

また、平成30年10月からの10ヶ月間の利用実績は予想より少なく、路線自体を廃止するという考えもあった。しかし、路線を変更した上で1年間社会実験を延長することとし、地元の了解を得たという経緯をご承知おきいただきたい。

(開田委員)

開発駅前が特に利用者が多いが、大山行政サービスセンター前や老人センター前も利用者が多いため、ダイヤが改正されたことで、今後どのように変化するのか注視していただきたい。

(中山会長)

大山行政サービスセンター前での行き帰りの利用は考慮しているのか。住民票や証明書の発行等の手続きでの利用があるのではないか。

(富山市)

富山市では各小学校区に地区センターが配置されており、各手続きは地区センターで行うことができる。行政サービスセンターへは大きな相談ごとやその他の手続き等の利用が考えられ、案件によって滞在時間が異なると考えられる。

(中山会長)

1年間の社会実験の中で、利用の変化を注視していただきたい。

(林委員)

開発駅前の乗降者が多いが、スーパーの利用以外に鉄道への乗り換えの利用はあるのか。

(富山市)

降車後の乗り継ぎまでは把握していないが、現場の運転手からの報告によれば、スーパーの利用が多いと考えられる。

(中山会長)

鉄道への接続は考慮しているのか。

(富山市)

長くて30分以上の待ち時間の箇所があるが、大体15分～30分程度で接続するようダイヤを編成している。

【議決】 原案のとおり承認

議案第3号 市営「八尾コミュニティバス」の路線・停留所位置変更等について

【資料説明】 富山市

【意見・質問要旨】

(前田委員)

停留所名称の変更や路線の変更が9月2日からとあるが、おわら開催期間と重なっていることの影響はないのか。

(富山市)

工事終了が8月であるため、9月からの変更としている。また、おわら開催期間は旧町への運行を休止するため、影響はないと考えている。

(中山会長)

昨年度の議決事項である八尾公民館改築による路線変更は継続でいいのか。

(富山市)

八尾公民館改築による路線変更は今年度末までの予定としている。

(開田委員)

停留所の設置は9月1日時点で設置完了予定なのか。

(富山市)

9月1日までに設置完了予定である。

(中山会長)

停留所名称変更や路線の変更について、地元の了解は得ているのか。

(富山市)

地元の了解は得ている。

【議決】 原案のとおり承認

【その他意見・質問要旨】

(清澤委員)

婦中地域でデマンドタクシーを運行しているが、利用実績はどうなのか。

(富山市)

婦中地域では、4月から地域自主運行としてコミュニティバス4路線とデマンドタクシーを運行している。コミュニティバスでは、1路線6便の運行が4便と減少したこともあり、利用が以前より少し減少している状況である。デマンドタクシーについては、事前登録を音川地区全世帯の約12.5%に登録いただいております、実際の利用は月に1～2件程度である。利用が少ない状況ではあるが、運行主体である地元と周知を行い、利用促進を進めていきたい。

(以上)